

学校教育部長目標

- 学校教育部長 田中 和貴(たなか かずたか)



- 学校教育部の仕事

学校教育部は、学校教育課、保健給食課、教育センターの3つの課(所)で構成されています。学校教育課では、市立の小・中学校及び幼稚園の教育内容の指導、県費負担教職員・市費負担の支援員等の人事事務、就学事務などを担当し、保健給食課では、2つの学校給食センターへの指導をはじめ、学校保健、学校給食、食育などを担当しています。また、教育センターでは、学校教育に係る調査研究、教職員の研修、教育相談などを担当しています。

- 学校教育部の29年度の目標

学校教育部の今年度の重点的な目標は、「学び創造アクティブプラン」学力向上推進事業の充実、学習指導要領改訂に伴う英語教育推進事業の充実、学校給食センター再整備事業の充実などです。

- 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の数値目標	年度末の目標達成度合
1	「学び創造アクティブプラン」学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が一体となり、地域総がかりで児童生徒の学力向上を図ります。 ・従来の取組に加え、新たにアクティブラーニングの指導観を取り入れた授業改善、家庭学習の定着、幼保小の連携促進などを行い、さらなる学力向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、児童生徒が主体的に学び「わかる喜び」を味わえる授業をめざします。 ・家庭では、生活習慣を見直し、家庭学習の習慣化・家読(家庭読書)の推進をめざします。 ・地域では「思考力・判断力・表現力」を育成する体験活動の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指導訪問や校内研修の機会を捉えて「めあての提示」等の徹底が100%図れました。 ・学び創造アクティブプランによる新たな学力向上策(思考ツール・ICTの活用)の見直しが図れました。 ・主体的な校内研修の充実が図れました。
2	学習指導要領改訂に伴う英語教育推進事業 「Tokorozawa English Action Plan: TEA-Plan」	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂に伴う小学校における英語の教科化・早期化を受けて、英語教育に関する教員、英語指導助手、外国語活動支援員等とともに英語教育を通して、これからの時代をたくましく生き抜く児童生徒の育成をめざします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校にCAN-DOリスト(到達度目標)を整備して、指導と評価の改善に生かします。 ・小学校の担任を中心に短時間の活動アイデア集を配布します。 ・次期学習指導要領全面実施に向けた小学校教員対象の研修会を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語科の学習指導要領改訂(3・4年生の外国語活動、5・6年生の教科の英語化)にともなう委嘱校による授業検証と市内各小学校の校内研修の充実が図れました。 ・各小学校教員対象の教育センター研修の充実が図れました。
3	学校給食センター再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した給食センターの再整備に向け、情報収集、調査、分析など専門性の高い分野の業務を業者に委託し、資金調達や民間活力の導入など、様々な手法について研究・検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター再整備に向けた、PFI方式をはじめとする、各種事業手法の導入可能性調査を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター再整備に向けた可能性調査を実施しました。 ・学校給食センター再整備のための事業用地取得が認められ、用地取得に向けての準備が整いました。